

教科目名 技術経営論 (Management of Technology)

専攻名・学年 : 全専攻 2 年 (教育プログラム 第 4 学年 ○科目)
 単位数など : 選択 2 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)
 担当教員 : 清水啓一郎

授業の概要			
<p>今日、技術は社会の隅々にまで大きな影響を与えており、我々は高度技術社会の真っ直中にある。企業経営も例外ではない。技術は企業経営を支える裏方から、企業経営の最前線に出てきており、技術に関する事柄の取り扱いの優劣が企業の盛衰を決めるまでになっている。この授業では、技術経営(MOT)とは何か、企業経営の基礎、経営リソース、技術戦略、マーケティング、イノベーション(革新)、知的財産権、研究開発(R&D)、リスクマネジメント、技術組織等について講義とグループディスカッションで学ぶ。</p>			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E2), JABEE 目標 (e)	
<p>(1) 技術経営、技術の価値と評価方法及び知的財産権制度について学び理解する。(定期試験と課題) (2) 経営資源の活用方法、会計/金融の基礎、人材育成の重要性について学び理解する。(定期試験と課題) (3) イノベーションの重要性、研究開発体制と技術組織、戦略的ものづくりについて学び理解する。(定期試験と課題) (4) 品質管理、論理的思考、プロジェクト運営、グローバル時代の企業経営、環境保全等について学び理解する。 (定期試験と課題)</p>			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	MOTと技術	技術経営、技術の価値と評価方法	【理解の度合い】
2	知的財産 (1)	知的財産と知的財産権制度、知的財産マネジメント	
3	知的財産 (2)	特許明細書の作成演習 (1)	
4	知的財産 (3)	特許明細書の作成演習 (2)	
5	アカウンティング/ ファイナンス	企業価値、会計、原価計算、金融の基本	
6	ヒューマンリソース	人の能力、評価方法、人材育成	
7	イノベーション	新しい価値の創造、イノベーションの種類、革新のイノベーションと戦略的展開	
8	R&Dと技術組織	研究開発体制、テーマ設定の視点、研究開発の推進と知的情報の活用	
9	戦略的ものづくり	製品と商品、製品開発プロセス、強い製品、QCD ライフサイクル	
10	クオリティマネジメント	品質管理、管理手法、品質マネジメントの標準化、ISO9000 ファミリー	
11	ロジカルシンキング	論理的思考の重要性、思考方法、予想外の結果への対処法	
12	種々のマネジメント	リスクマネジメント、プロジェクトマネジメント	
13	グローバリゼーション	グローバル化、ボーダーレスビジネス環境	
14	C S R, 環境マネジメント	C S R (企業の社会的責任)、企業活動と環境保全	
15	後期期末試験 後期期末試験解答と解説		【試験の点数】 点
履修上の注意	講義は教科書を基本に進めるが、教科書を補うためにプリントも適宜配付するので、各自書き込みやファイリングをしておくこと。		【総合達成度】
教科書	阿部隆夫、「技術経営論入門」、森北出版		
参考図書	丹羽 清、「技術経営論」、東京大学出版会		
自学上の注意	新聞、TV、Web等での企業活動に注目しておくこと。		
関連科目	つながり工学(本科)、プロジェクト実験 I、情報技術、センサ工学		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について定期試験とレポートで総合評価する。 総合評価 = 定期試験 × 0.8 + レポート × 0.2 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験の受験資格はレポートを全て提出した者に与える。		
			【総合評価】 点